

住民主体のまちづくり

「まちづくり協議会の取り組み」

個性的で魅力的なまちづくりを行うためには、住民参画のまちづくりが求められています。

市内でも各地域にまちづくり協議会が設置され、地域住民の参加と協力による、さまざまなまちづくり活動が展開されています。今月号では、まちづくり協議会の役割、また、その取り組みについて紹介します。

まちづくり協議会とは

まちづくり協議会は、合併後、地域のあり方を自ら考え、地域の特性と創造性を生かしたまちづくりを推進するため、高梁・有漢・成羽・川上・備中の各地域（旧1市4町）に組織されています。

従来から行われてきた地域の歴史や文化など多くの地域資源を生かした住民主体のまちづくりをさらに進展させ、「地域福祉の向上」、「地域振興」、「地域文

化」にかかわる、さまざまな事業が行われています。また、地域のコミュニティ組織や各種団体が行う事業へも積極的に取り組んでいます。

市は、こうしたまちづくり協議会の活動に対し、地域振興基金を活用した地域振興交付金を交付しています。

今後、まちづくり協議会を中心とした「自らの地域は自らの手で」という地域活動を支援し、その活動を通じて住民主体による自立したまちづくりを推進し

ていきます。

また市は、まちづくり協議会の意見等を聞き、市の施策に反映させるよう、住民と行政の協働のまちづくりを進めていきます。

より効果的な事業のために

地域振興基金を活用し、各ま

事業評価委員会の提言（抜粋）

- ①「高梁市」をPRするために全市的な取り組みが必要である。今後は地域間の情報交換・交流の場を設け、日程調整や、事業内容の改善を行うとともに、「高梁市」全体のPRを図る工夫もされたい。
- ②事業規模を縮小することで、事業そのものの盛り上がり面白さを欠く可能性はあるものの、交付金については一事業への交付上限額を定める等、事業間の均衡を図られたい。
- ③地域振興基金は限りある財源なので、中・長期的ビジョンのもとに計画を立て事業を実施していくことが大事であるが、その中に広域的な事業連携も計画されたい。
- ④交付金を活用し、真に効果のある事業を実施するためには自助、共助の部分が重要である。自己資金を確保する等のより一層の努力・工夫をされたい。

ちづくり協議会が行った事業は、第三者機関である「高梁市まちづくり事業評価委員会」によって、審査・評価されています。市は、この評価結果を公表して、より良いまちづくりの運営が図られることを目指しています。

平成18年度に行われたまちづくり事業については、「前年度と比較し、事業目的に沿って合理的かつ効率的な活用がなされている」と評価されています。また、今後は全市的な取り組みについても最小限の経費で最大限の効果が得られるよう、次の4点について提言がなされました。

高梁地域まちづくり協議会

地域の特性を生かしたまちづくり

高梁地域まちづくり協議会には、地域内10カ所に住民が主体となった、まちづくり推進委員会が組織されています。推進委員会では、地域の広報紙の発行、

運動会やふれあい祭・文化祭などの開催、ボランティア活動支援、美しいまちづくりの推進など、各種の活動が行われています。

こうした活動を支えるのは、地域の皆さんの主体的な参加です。例えば地域の公園づくりでは、技術を持っている人が率先して地域の人を指導するなどし、自分たちで土木作業を行ったり、安心・安全を推進する活動でも、小学生が描いた環境美化の啓発ポスターを地域内に貼るといった取り組みも見られます。

イベントなどの開催でも、地域の皆さんの参加を基本とした取り組みが行われています。今年4月に、「備中たかはし城下町・町屋通りの雛まつり」が初めて開催されました。これは、古い商家が残る本町を活性化させようと有志が集まり、平成18年4月に「本町活性化委員会」を結成。何度も会合を重ね、通りを生かした「雛まつり」を行



初めての雛まつりでにぎわった本町通り



地域づくりにかける思い



高梁地域まちづくり協議会
会長 石井 保さん

高梁地域まちづくり協議会は、平成17年3月に高梁地域内の10地域（高梁・津川・川面・巨瀬・中井・玉川・宇治・松原・高倉・落合）のまちづくり推進委員会を支部組織とした集合体として設置されました。

合併前から各まちづくり推進委員会では、住民参加で地域の特性を生かした自主的なまちづくりを推進しています。

今後とも「まちづくりの主体は住民」という基本原則のもと、地域のニーズをキャッチして、それに応じた活動を展開するとともに、行政との連携による協働のまちづくりの推進、また、他地域のまちづくり協議会との連携等に積極的に取り組みます。

うことが決まりました。地域の女性たちも、女の子の成長を祝う「雛まつり」にちなんだイベントを女性の視点で盛り上げようと先頭に立って、通りの花飾



啓発ポスターで小学生もまちづくりに参加

にある人形製造会社や地域商店の協賛もあって、次年度以降も開催することとしています。

りを作成し、家々に飾られた雛人形の横に手づくりの品を添えるなど祭りを側面から支えました。

こうした動きに周りの人も促され、地域全体の盛り上がりが発展していきましました。通り